

普及現地情報

発信年月日：令和2年（2020年）8月3日
所属名：甲賀農産普及課
番号：C20015
部門分類：110(稲)
発信者名：小椋、竹若、河村

ドローンによる生育診断を実施しました

県では今年度より、近年頻発している異常高温等に左右されない水稲の安定栽培に向けて気候変動適応技術実践サポート事業に取り組んでいます。その事業の一環として、7月7日に、管内2つの集落営農組織のそれぞれのほ場においてドローンによる生育診断を実施しました。

生育診断を実施した集落営農組織では、これまで生育後半の肥料切れや砂質土壌における秋落ち症状による収量の低下が課題となっていました。そこで、ドローンにより対象ほ場の上空から写真撮影を行い、NDVI値（植物の生育量、窒素吸収量を数値化したもの）を測定しその診断結果に応じて追肥の要否を判断し、必要となる追肥施用により収量向上を図ることを目的に実施しました。

当日は、各集落の担当者等約10名が参加し、あらかじめ設定した飛行ルートに沿って、自動操縦撮影が行われました。参加した集落の担当者はあまりの短時間で作業が完了したことに驚かれ、リモートセンシング技術に大変興味を持たれている様子でした。

当課は引き続き、関係機関と連携し、新しい技術を導入しながら水稲の収量・品質の向上に向けて支援していきます。



生育診断内容について説明



ドローン飛行中